

「防災特別授業を受けて

一年二組 宮脇 一樹

12月8日に、早大防災教育支援会の、塚澤
さんに、防災についての特別授業をうけさし
てもらって、地震や津波の、こわさがよく分
かりました。

特に、体験談の話で、インドネシアの、ヌマ
ンダ君の話が、印象に残りました。

その話の中で、ヌマンダ君が、住んでいる地
域では、泳げる人がほとんどいなくて、その

地域に、津波がきてヌマンダ君は、その津波
たのみこまれて、6時間も水中の中にいて、
ヌマンダ君が住んでいる場所から、10キロメ
ートルも、はなれている所で、じゅうたんを
見つけてそのじゅうたんのつて、手でいっ
ぱいの力でこいだのですが、潮がひいてまた
流れて、だんだんしずんできて、その時に、
バスケットボールがあっ、それをもちながご
うりて、ひっしに、島へいこうとするけど足
がうごかなくなっ、て、しまった時に、その島

の人が、石油タンクと、あみきもってたすけ
こいました。

ひなん所たいて、おぼえなれないけど、お
父さんがいる、ひなん所を、教えて、もらっ
ていて、ここにいったら、お父さんにだきつ
きにいて、ここに、お兄さんもいました。
しかし、お母さんと、お姉さん、二人の妹は
今も行方不明だそうです。

地震や津波で、家族まではなればなれにさ
す、すごくおそろしりものだとあらためてわ
かりました。

あと、スマトラ島沖地震で、16万人の、死者
行方不明者がいます。

これを、甲子園球場の観客席で、約5万人入
るとすると、約3杯分になります。

これは、すごい人だと僕は、思えます。

この、防災特別授業を受けて、地震や津波の
おそろしさがあらためてわかりました。

ありがとうございました。